

# 令和4年度年報



【令和4年5月 大沼自然豊かな森づくり協議会による植付作業】  
(七飯町吉野山国有林)

森林ふれあい推進センターは、

国有林野を活用し、自然再生や生物多様性の保全に取り組むNPOや森林環境教育に携わる教育関係者等の活動を技術的に支援する組織として、平成16年4月に設置されました。



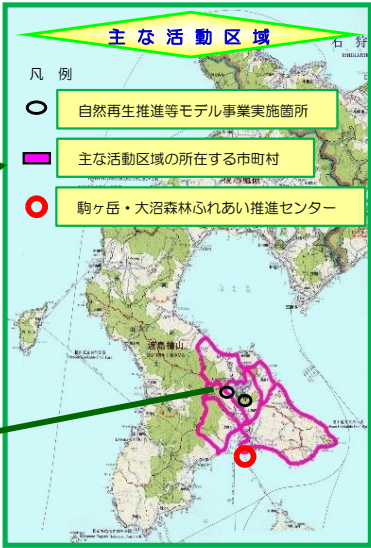
林野庁 北海道森林管理局  
駒ヶ岳・大沼森林ふれあい推進センター

# 大沼地域自然再生等モデル事業の取り組み

モデル事業地は、大沼国立公園エリアに所在し、漁業関係者から水質保全、観光関係者から景観の維持向上、自然保護関係者から鳥獣生息環境の維持向上等が強く求められているなど、環境保全や森林整備に係る関心や期待の高い地域となっています。

このため、モデル事業の推進について、自然保護関係者や民間ボランティア団体等の代表者で構成する検討委員会を開催し、モデル事業地の箇所の選定、森林の取り扱い、事業の推進方法等についてのランドデザインを作成するとともに、地域等が大沼地区の国有林に求めているニーズをモデル事業に反映するよう努めることにしています。

「大沼地域自然再生等モデル事業」は、地域住民等と連携し、「多様性のある森林への再生」と当該地及び近接地において「森林環境教育の推進」を主とし、取り組むこととしています。



- ＝ 検討委員会 ＝
- 平成16年度ランドデザイン作成ために3回実施。
  - 平成17年度～平成26年度「ランドデザイン」に基づく事業内容の検証及び検討のため年に2回実施。
  - 平成28年12月役割の一部を「大沼自然豊かな森づくり協議会」に継承して終了。

## ☆「大沼自然豊かな森づくり協議会」

協議会参加団体等名
大沼漁業協同組合
大沼町内会連絡協議会
大沼の水を考える会
北海道国際交流センター
北方森林鳥類調査室クマガウ研究会
函館地方国有林退職者緑の募金推進協議会
21世紀の道南の森林づくり事業実行委員会
個人会員及び関係行政機関

昨年度における「大沼自然豊かな森づくり協議会」（書面会議）で委員からは「新型コロナウイルス感染症の影響により、計画どおりに事が進まず残念」との意見等がありました。

まん延防止等重点措置や緊急事態宣言などが発令された場合は、感染拡大を防止するためにイベントなどを中止することについてのご理解を願いました。

★当協議会は、大沼地域自然再生等モデル事業のランドデザインに基づき、森林の再生活動を行うことを目的として平成17年4月に組織されたものです。

# ☆ 多様性のある森林への再生

大正14年植栽ドイツウヒ人工林と昭和56～58年植栽トドマツ人工林、及び昭和27年度植栽カラマツ人工林の22,90haの森林を、地域ニーズを踏まえた生物・水質・景観など多様性のある森林へ誘導します。【具体的には、周辺の天然林を参考とした森林へと育成します】



「多様性のある森林への再生」箇所において、様々な取り組みを行っています。令和4年度の主な実施内容は、次のとおりです。

## 「カミネッコンによる植付作業」の実施

3年ぶりの開催となった5月21日（土）、大沼自然豊かな森づくり協議会をはじめ、一般参加者、渡島署、檜山署の若手職員を含め、総勢19名により、カラマツ人工林の上層木がまばらな箇所へ、カミネッコンによる広葉樹（ミズナラ、イタヤカエデ、ヤチダモ、ナナカマド、アオダモなど）の植付けを行いました。

※カミネッコンとは再生紙で作ったリサイクルポットです。

午前中は、カミネッコンの組み立てとポット苗からの移植を行いました。協議会のベテランメンバーも3年ぶりの組み立てとあってか、最初のうちは戸惑いながらもハイペースで210個のカミネッコンを完成しました。

午後からは、植付場所に移動して地均しを行い、最後は全員でカミネッコンを植付し、心地よい汗を流して終了しました。





## 「国際ワークキャンプ」の受け入れ・・・新型コロナウイルス感染症拡大のため中止

「国際ワークキャンプ」とは、世界中から集まった若者が一緒に生活をしながら、「森林の手入れ」、「動植物の保護」、「有機農業の支援」、「学校の建設」など地域での環境ボランティア活動を行う「国際ボランティアプロジェクト」で、世界約100か国、約3,000箇所で行われています。日本では国際ボランティアNGOのNICE(ナイス)が「国際ワークキャンプ」の企画、運営、参加者の募集等の事務を行います。日本各地に協力団体があり、北海道では函館市にある「北海道国際交流センター」が受皿団体になっています。

当ふれあいセンターでは、吉野山国有林（七飯町字大沼）で実施している「大沼自然再生等モデル事業」において、自然再生等への取り組みの一環として、各種森林ボランティア活動の機会を提供しています。

下記写真は、令和元年度実施活動の様子



概要説明



ポット苗づくり



地拵・植付作業



作業終了後、集合写真



## 3年ぶりに開催された吉野山森林植生観察会

6月18日（土）、春の下層植生の変化（変遷）を観察するため、北海道アウトドアガイド（自然）の木村マサ子氏及び村本ゆり子氏を講師に森林植生観察会を開催しました。今年、5年に一度の北海道フラワーソン2022に参加しての観察会となり、森林浴を楽しみながら、講師の草花の説明を聞いて調査しました。

春季  
6月18日

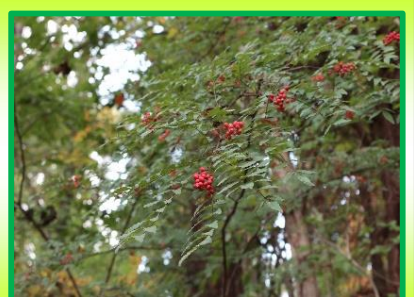
参加者  
13名



10月15日（土）、秋の下層植生の変化（変遷）を観察するため、北海道アウトドアガイド（自然）の木村マサ子氏及び村本ゆり子氏を講師に森林植生観察会を開催しました。参加者たちは秋の自然を楽しみながら、この時期に咲いている草花を楽しんで調査し、無事終了しました。

春季  
10月15日

参加者  
18名



# ☆ 森林環境教育（樹木博士認定会）の推進

西大沼国有林の樹木博士認定常設コース（平成16年10月オープン）を拠点とし、森林に対する関心と理解の醸成を図る活動を実施しています。

具体的には、森林環境教育の指導者の養成等のための樹木博士認定会の開催や研修会等を実施し、森林環境教育を推進します。また、多様性のある森林への再生活動（吉野山国有林）においても森林環境教育を実施することとしています。



樹木博士認定常設コース



常設コース看板



認定会の様子

## 樹木博士認定会とは

樹木の名前や識別方法を学習した後、樹木名を答える試験を行うもので、それをきっかけとし、森林に親しんでもらうことを目的とした森林環境教育（アウトドア活動プログラム）のひとつです。

## 樹木博士認定コース

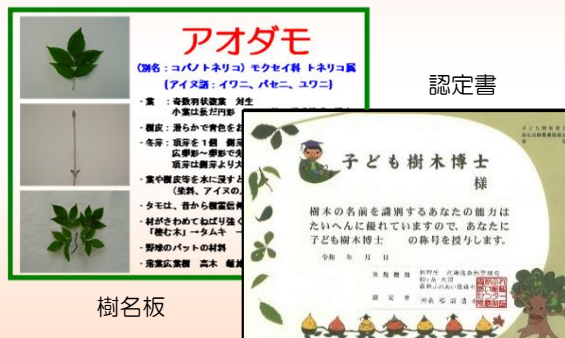
子ども樹木博士認定活動推進協議会（平成12年設立）のプログラムを採用し、平成16年には、この活動を地域に広めることと森林環境教育に関する指導者の養成を図るための活動の拠点として、誰でもいつでも利用できる「常設コース」を大沼国定公園内の西大沼国有林（七飯町）に開設し、対象者を子ども達だけではなく一般にも広げ、毎年6月から9月の第一日曜日に定期開催しています。



樹木博士認定コース案内板

## 進め方

1時間程度の樹木の説明を受けた後、樹種名（20～30種）を答える試験を行い、成績に応じて段級（最高位は10段）を決定し、認定書を授与します。



樹名板

認定書

## コース概要

- ◆ コースの距離 事前学習コース [ 450 m ]  
テストコース [ 390 m ]  
周 遊コース [ 2,050 m ]
- ◆ 試験 樹 種 40種（ブナ・ミズナラ・スギなど）



左写真はセンターで作成した「樹木ガイドブック／全70ページ」（平成23年3月発行）

このガイドブックにより、樹木の説明を行います。



令和4年度の樹木博士認定会の取組については、公募により6月・7月・8月・9月の4回の定期開催を実施しました。

また、より多くの挑戦者の参加を期待して、函館市教育委員会で取り組んでいる生涯学習講座「HAKODATEまなびっと広場」に参画し、選択科目の一つとなっています。

定期開催の結果の内容等については、次のとおりです。

第1回開催（西大沼）



第2回開催（西大沼）



第3回開催（西大沼）



第4回開催（西大沼）



本年度の定期開催の参加者は延べ56名で、今年も参加者数が伸び悩んでいることから教育機関等への働きかけをすると共に他のイベントやホームページでPR活動を行ってまいります。

● 定期開催結果

回数	認定会日時等	参加者	内 訳
第1回	6月 5日（日） 10：00～12：30（西大沼）	10人	子供 0、大人10
第2回	7月 3日（日） 10：00～12：30（西大沼）	9人	子供 2、大人 7
第3回	8月 7日（日） 10：00～12：30（西大沼）	4人	子供 0、大人 4
第4回	9月 4日（日） 10：00～12：30（西大沼）	7人	子供 0、大人 7

● その他開催

江差北小グリーンスクール・職員研修・職場体験学習	26人	子供14、大人12
--------------------------	-----	-----------

● 樹木博士認定状況

令和4年度末 累計	2,734人（平成12年度の旧函館分局から行ってきた合計です）
-----------	---------------------------------

# ☆ 自動撮影装置による野生動物調査

当センターでは、大沼周辺（七飯町）の森林における野生動物（中大型哺乳類等）の生息調査を実施しています。

- 調査目的～野生動物の生息状況を長期的に記録し、その変化と環境の変化とのかかわりを研究
- 調査方法～自動撮影装置（カメラ）による撮影（赤外線センサーに反応する動物を撮影）  
（平成26年度よりデジタルカメラを導入）
- 調査時期～年2回（7月、9月）、3週間連続で実施

## PHOTO



タヌキ



コウモリ

## 自動撮影カメラの設置



ヒグマ



エゾシカ

# ☆ 森林づくり塾2022 開講

目的

森林の役割や森林づくりの基礎を学び、実際の森林作業を体験することにより、森林作業の技術の習得、また、森林の中での楽しみ方を体験し、理解を深め、**森林ボランティア作業への参加意識の醸成と森林環境教育のリーダー的存在となりうる人材の育成**を目的としています。

「森林（もり）づくり塾」の取り組みは今年で16年目となります。公募を行った結果、函館市から12名の参加があり、今年は3年ぶりに渡島総合振興局林務課の「森への誘い講座」と連携して実施しましたが、渡島総合振興局林務課主催の行事は大雨のため、道路が決壊し中止となりました。

令和4年度の森林づくり塾は、5回すべての開催となりました。

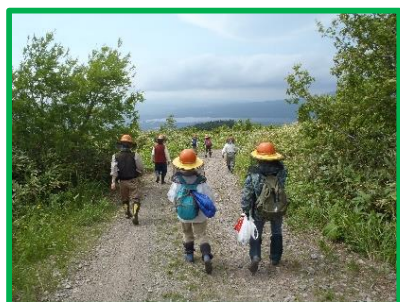
## 第1回講座

5月29日（日）、今年の塾生10名が参加して開講式を実施しました。当日は、共同開催を予定している渡島総合振興局林務課の担当者より道有林の概要や「森への誘い講座」の説明を受けた後、植付体験で使用するカミネッコンの作り方を学んで、終了しました。



## 第2回講座

6月26日（日）、七飯町カリマ国有林にて枝打ち体験を実施しました。前々日の金曜日、大雨と強風のため開催が心配されましたが、何とか天気も回復し、塾生7名が一生懸命にスギの枝を手鋸で切り落とし、心地よい汗を流していました。



### 第3回講座

7月31日（日）、江差町水堀の砂坂国有林において塾生8名が参加し、海岸林の成り立ちや現況を確認しました。

当日は、砂坂国有林内にある展示館で海岸林が荒廃した経緯や、緑が再生するまでの困難を極めた道のりをビデオで学んだあと、午後からは檜山森林管理署森林技術指導官より砂坂海岸林の現況や植栽木の説明を聞きながら海岸までの道のりを散策しました。



### 第4回講座

9月11日（日）、渡島総合振興局の「森への誘い講座」と連携し、総勢36名が参加して七飯町大沼にある吉野山国有林において、カミネッコンによる植付体験を実施しました。

当日は、渡島森林管理署署長をはじめ、渡島森林管理署と檜山森林管理署から若手職員を中心に9名の応援を受けて作業を開始しました。

カミネッコンの作成は、初めての人も多く組み立てに苦労していましたが、若手職員等の丁寧な指導のおかげで、徐々に慣れてきて用意した210個のカミネッコンが予定時間より早く完成したため、ポット苗の移植と地均しも午前中で終了し、初秋の爽やかな天候のなか、心地よい汗をながしていました。



### 第5回講座

10月1日（土）、森町の製材工場と函館港の万代埠頭・中央埠頭の見学を実施しました。

当日は塾生10名が参加し、午前中は森町にある株式会社ハルキにて、森林のはたらきや取り組みについて説明を受けたあと製材工場内を見学しました。

午後からは函館港に移動し、函館事務所所長から丸太の本州への移出と海外への輸出について説明を受けたあと、万代埠頭と中央埠頭に山積みされた丸太の見学を行いました。

最後に、バスのなかで中村所長から修了証書を手渡して、今年度塾での経験を皆さんの活動に生かしていただきたいと挨拶し、無事終了しました。



## ☆ 森林環境教育

### 🌲 青森県風間浦中学校の職場体験学習

8月24日（水）、青森県下北郡風間浦村の風間浦中学校から1年生の男子生徒1名が当センターで職場体験学習を実施しました。

当日は、国有林の概要等を学習したあと、七飯町の吉野山国有林と西大沼国有林に移動し、植付体験と樹木博士認定会を体験してもらい、慣れない足元での学習となりましたが最後まで投げ出さずにやり遂げていました。



### 🌲 檜山森林管理署主催「グリーンスクール」に協力

9月8日（木）、江差町水堀の砂坂海岸林において、江差北小学校グリーンスクールを開校し、3年ぶりに高学年（5・6年生）14名を対象に樹木博士認定会を開催しました。

限られた時間のなかで、初めて聞く樹木の名前に苦労している生徒もいましたが、全問正解する生徒もいて、楽しい森林教室となりました。



### 🌲 学童保育所（ひのてん）の木工製作会に協力

12月17日（土）、函館市末広町の学童保育所でクラフト作りを開催しました。

当日は、小学校低学年13名、高学年7名の計20名の児童が参加し、当センターから提供した材料を使ってクリスマスにちなんだクラフト作りを行いました。



# 令和4年度の活動一覧

年月日	曜日	実施内容
R4. 5.21	土	大沼自然豊かな森づくり協議会：植付作業（吉野山国有林）
R4. 5.29	日	第1回森林づくり塾：開講式（駒ヶ岳・大沼森林ふれあい推進センター）
R4. 6. 3	金	下刈体験：函館柏稜高等学校（カリマ国有林） 中止
R4. 6. 5	日	第1回樹木博士認定会（西大沼国有林）
R4. 6.10	金	下刈体験：函館有斗高等学校（カリマ国有林）
R4. 6.18	土	大沼自然豊かな森づくり協議会：春季植生観察会（吉野山国有林）
R4. 6.22	水	「森への誘い講座」（渡島総合振興局林務課）：講師依頼（道南四季の森公園）
R4. 6.26	日	第2回森林づくり塾：枝打体験（カリマ国有林）
R4. 7. 3	日	第2回樹木博士認定会（西大沼国有林）
R4. 7. 5	火	（～7.26）野生動物自動撮影調査（カリマ国有林等）
R4. 7.15	金	五稜郭保安林：清掃作業支援（函館市）
R4. 7.27	水	（～9.14）国際ワークキャンプ（吉野山国有林ほか） 中止
R4. 7.31	日	第3回森林づくり塾：砂坂海岸林見学（江差町）
R4. 8. 7	日	第3回樹木博士認定会（西大沼国有林）
R4. 8.24	水	職場体験学習：青森県下北郡風間浦村（風間浦中学校）
R4. 8.30	火	若手職員を対象とした樹木博士認定会（西大沼国有林）
R4. 8.31	水	「森への誘い講座」（渡島総合振興局林務課）：横津岳登山（七飯町） 中止
R4. 9. 4	日	第4回樹木博士認定会（西大沼国有林）
R4. 9. 6	火	（～R4.9.27）野生動物自動撮影調査（カリマ国有林等）
R4. 9. 8	木	江差北小学校の森林教室「グリーンスクール」で樹木博士認定会（砂坂国有林）
R4. 9.11	木	第4回森林づくり塾：植付体験（吉野山国有林）
R4.10. 1	土	第5回森林づくり塾：製材工場・函館港見学（森町・函館市）
R4.10.15	土	大沼自然豊かな森づくり協議会：秋季植生観察会（吉野山国有林）
R4.12.17	土	木工製作会協力：学童保育所「ひのてん」（函館市）
R5. 2. 28	火	冬芽観察会（西大沼国有林）
R5. 3. 8	水	大沼自然豊かな森づくり協議会：協議会総会（七飯町）

# 主な活動実施区域



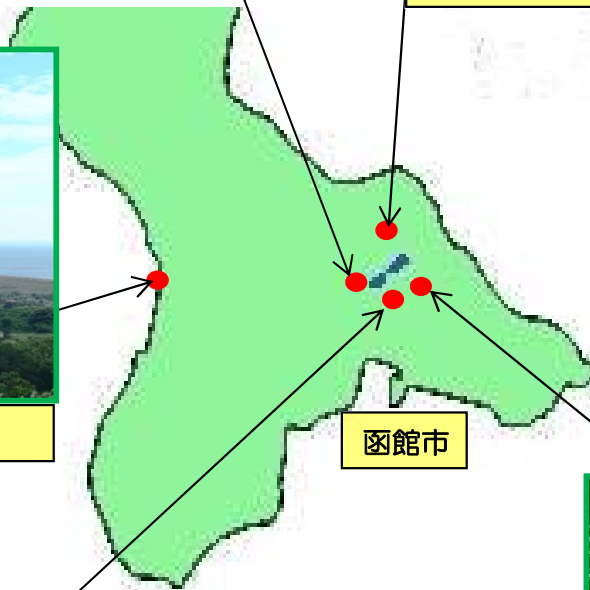
西大沼（にしおおぬま）国有林



駒ヶ岳（こまがたけ）国有林



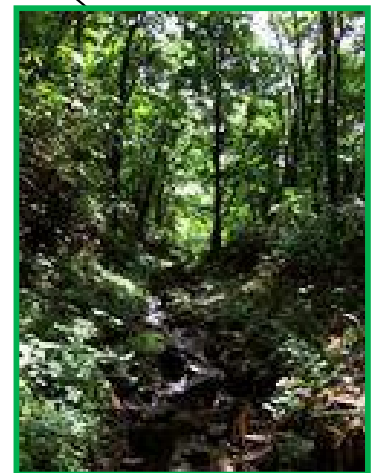
砂坂（すなさか）海岸林



函館市



吉野山（よしのやま）国有林



カリマ国有林

国有林は「国民の森林」です。皆さま方からのご意見ご要望等をお待ちしています。

林野庁 北海道森林管理局  
駒ヶ岳・大沼森林ふれあい推進センター

〒040-0032  
北海道函館市新川町25番18号（函館地方合同庁舎6階）

TEL 0138-86-6897  
E-mail h\_koma\_f@maff.go.jp